

# 第63回社会教育研究全国集会 東北福島集会 現地実行委員会だより

令和6年1月27日開催の第2回現地実行委員会を振り返ります。



グループで感想や思いを共有。  
テーマに結びつくたくさんのキーワードを発見！



発足会の様子をみんなで共有  
「…自分の経験を実行委員会に役立てたい！」

## この集会のキーワードは？

- 一度コミュニティが壊れたふくしま。そこからつながりあったものは一般的にいう「つながり」とは違う。そこを語らずにはいられない。
- 種まきが社会教育。
- 東北の状況、こう変わってきた、こう変わっていくという東北の力、思い、東北の魅力。
- なかなか福島全体の状況を把握できていない中、分断がすすんでいるという現実。それぞれが抱えている課題をつなぎなおして、解決していく。世代をこえて、県内外を超えて、いい知恵を創っていこう。

**震災後13年の社会教育を  
魅力的に発信していこう。**



## 千葉委員長による講義「学び」は大きい

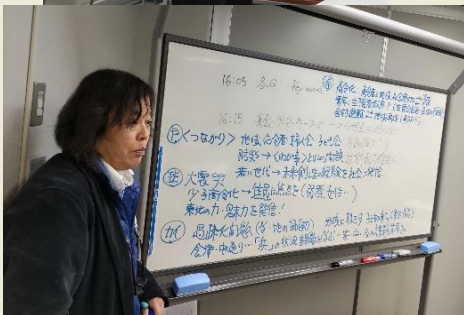
テーマ：「これまでの東北の社全協集会振り返り、

今集会のテーマをイメージする」

これまで東北で行われた集会の歴史などを振り返り、果たしてそこで確認された課題は解消されたのか？福島で蓄積された社会教育の学びを次世代へつなぐ。浜通りの学び。福島は震災後若者の学びの広がりも大きな特徴。熟議を通した学びは社会教育への期待の表れ。意見が対立することがあっても、合意形成のためには熟議は大切。対立を乗り越えていくことこそが社会教育の真骨頂である。…時間が足りなかったです。続きをお願いしたいです！

## 中田委員のファシリテーション「みんながつながる」

千葉先生の講義を承けて、会場の皆さんでグループディスカッション。話せば話すほど、学びが深く深くなっていくのを体感して、ワクワク、ドキドキ。いろいろな立場で、「はじめまして」も多い東北福島集会の実行委員。話すことで、ぎゅーっと結束が固くなっていく、そんな感じを受けました。だから、社会教育において対面は重要。



**参加できなかった方も安心してくだ  
さい。どこから入っても、大丈夫。  
みんなでフォローします！**